

2027年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

株式会社 チノー
(東証プライム : 6850)

1. 2027年3月期 第1四半期決算

- 1) 決算ハイライト
- 2) 業績サマリー
- 3) 営業利益増減分析
- 4) 四半期別連結受注高・売上高の推移
- 5) セグメント別の業績動向
- 6) 連結貸借対照表
- 7) 地域別売上高

2. 株主還元

3. トピックス

4. 通期業績予想

1.2027年3月期 第1四半期決算

1) 決算ハイライト

2027年3月期 第1四半期 連結業績

受注高



8,011百万円

前年同期比 11.2%増



売上高



6,280百万円

前年同期比 9.0%減



- 受注高は、計装システムの需要が大きく増加
- 売上高は、センサセグメントは増収となったものの、前年同期に計装システムセグメントにおいて複数の大型案件を計上した影響により全体では減収

営業利益



389百万円

前年同期比 10.9%増



経常利益



417百万円

前年同期比 17.5%増



四半期純利益 (親会社株主に帰属)



136百万円

前年同期比 19.0%増



- 利益は、センサセグメントの増収効果と計装システムセグメントの利益率改善により増加

2) 業績サマリー (1)

◇連結業績

(百万円)

	FY2025 1Q	FY2026 1Q	対前期増減額	対前期増減率
受注高	7,207	8,011	804	11.2%
	FY2025 1Q	FY2026 1Q	対前期増減額	対前期増減率
売上高	6,905	6,280	▲ 624	▲9.0%
売上総利益	1,862	2,090	228	12.2%
<利益率>	<27.0%>	<33.3%>	<6.3p>	
営業利益	351	389	38	10.9%
<利益率>	<5.1%>	<6.2%>	<1.1p>	
経常利益	354	417	62	17.5%
<利益率>	<5.1%>	<6.6%>	<1.5p>	
四半期純利益 (親会社株主に帰属)	114	136	21	19.0%
<利益率>	<1.7%>	<2.2%>	<0.5p>	

2) 業績サマリー (2)

◇セグメント別業績

(百万円)

セグメント	受注高				売上高				セグメント利益（営業利益）			
	FY2025 1Q	FY2026 1Q	増減額	増減率 (%)	FY2025 1Q	FY2026 1Q	増減額	増減率 (%)	FY2025 1Q	FY2026 1Q	増減額	増減率 (%)
計測制御機器	2,332	2,225	▲107	▲4.6	2,205	2,244	38	1.8	340	292	▲47	▲14.1
計装システム	2,372	3,235	862	36.4	2,415	1,284	▲1,130	▲46.8	32	50	18	58.1
センサ	2,259	2,300	41	1.8	2,033	2,512	478	23.5	395	513	117	29.8
その他	242	249	7	3.0	250	239	▲11	▲4.5	59	83	23	40.0
全社費用									▲476	▲551	▲74	—
合計	7,207	8,011	804	11.2	6,905	6,280	▲624	▲9.0	351	389	38	10.9

3) 営業利益増減分析

FY2025
1Q
営業利益

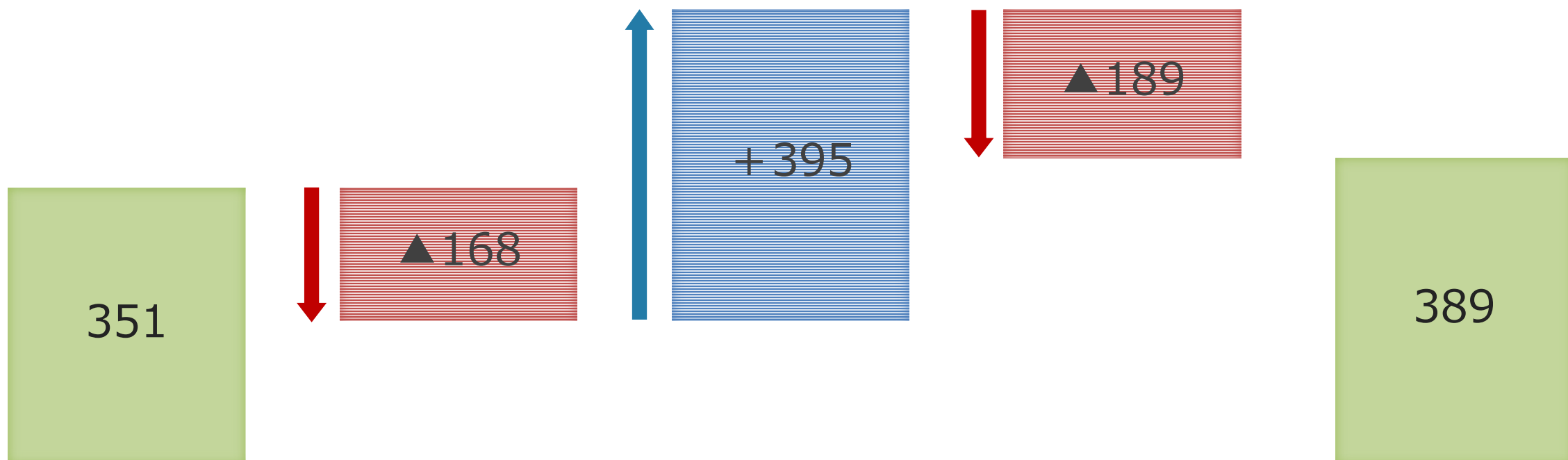
売上減
による
粗利益減

原価率改善
による
粗利益増

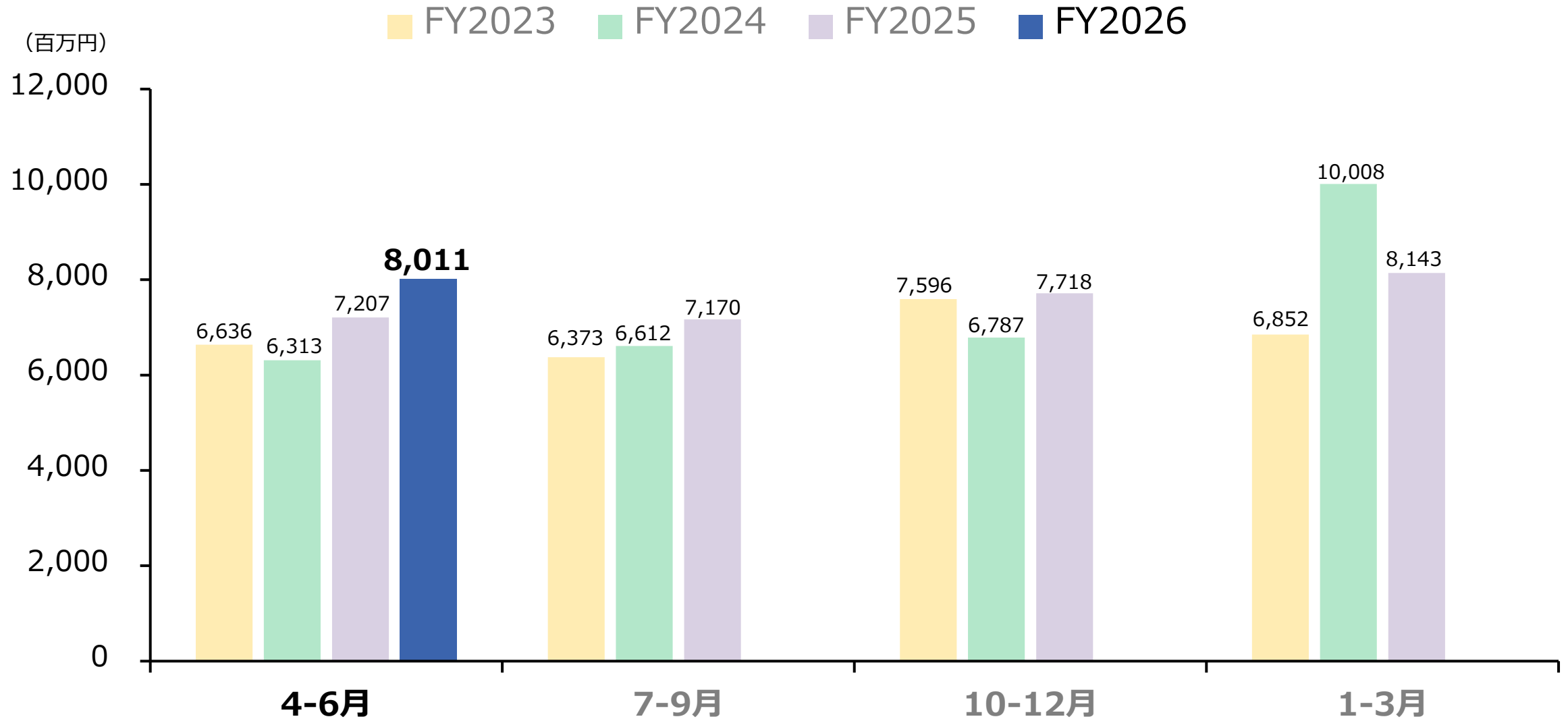
販管費の
増加

FY2026
1Q
営業利益

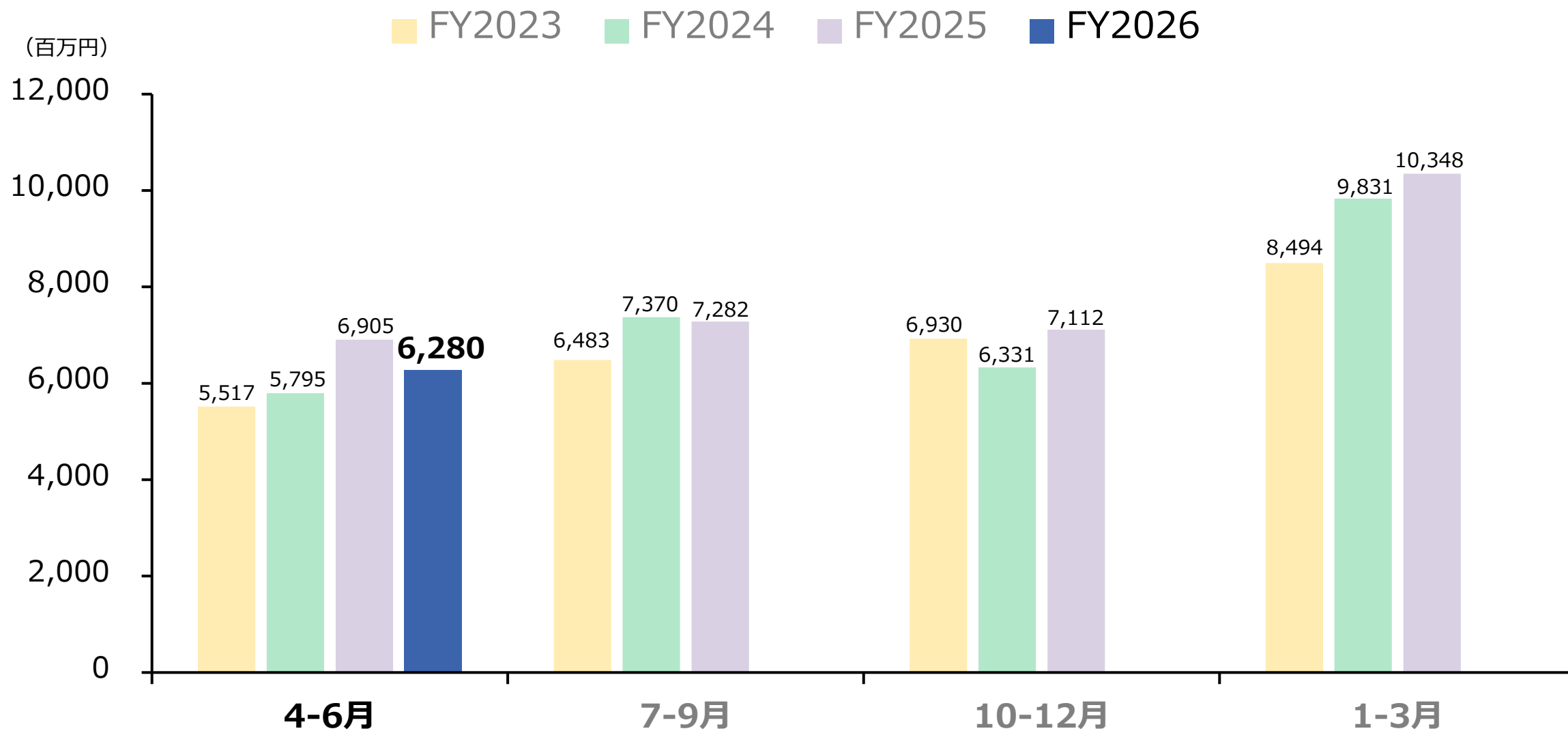
(百万円)



4) 受注高の推移



4) 売上高の推移



5) セグメント別の業績動向

① 計測制御機器

損益状況

売上高



2,244百万円

前年同期比

1.8%増



セグメント利益



292百万円

前年同期比

14.1%減

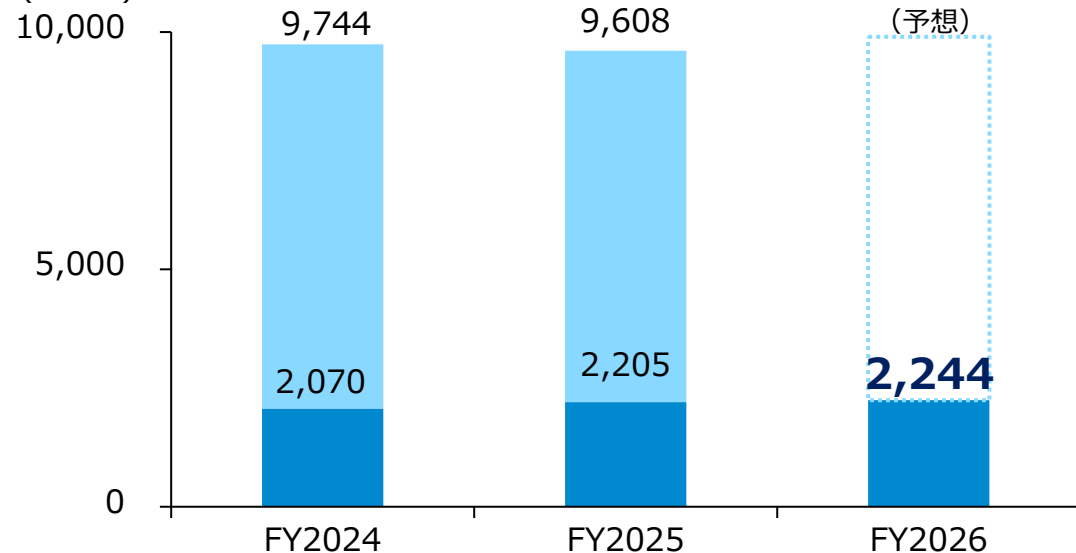


製品別状況

- 半導体・電子部品の製造設備や熱処理装置向けを中心に全体の需要は堅調だったものの、特定顧客向けOEM製品の一時的な需要停滞により売上高は微増
- 利益は、原価率の上昇等により減少

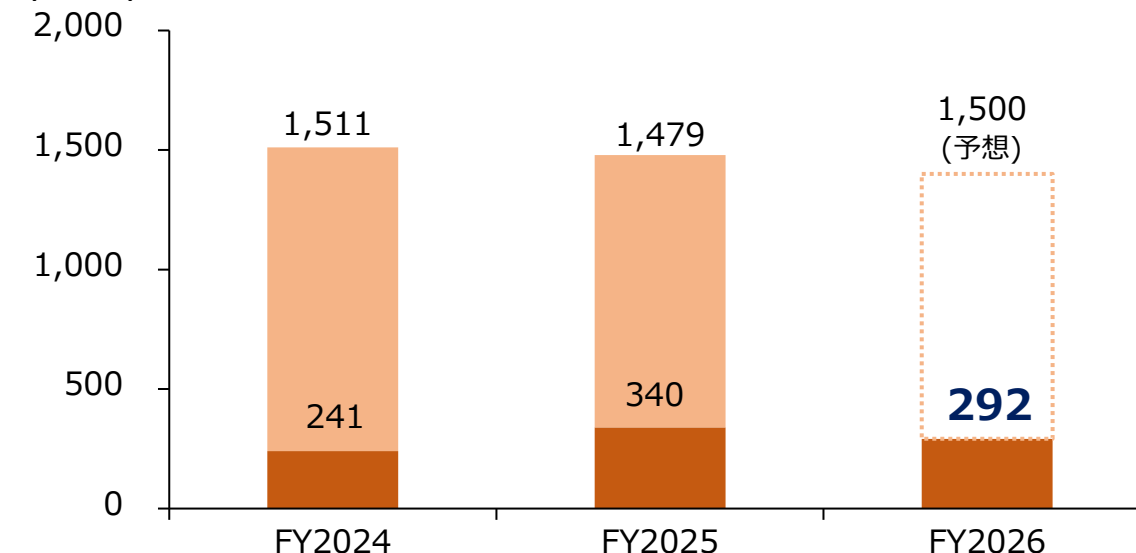
<売上高>

(百万円)



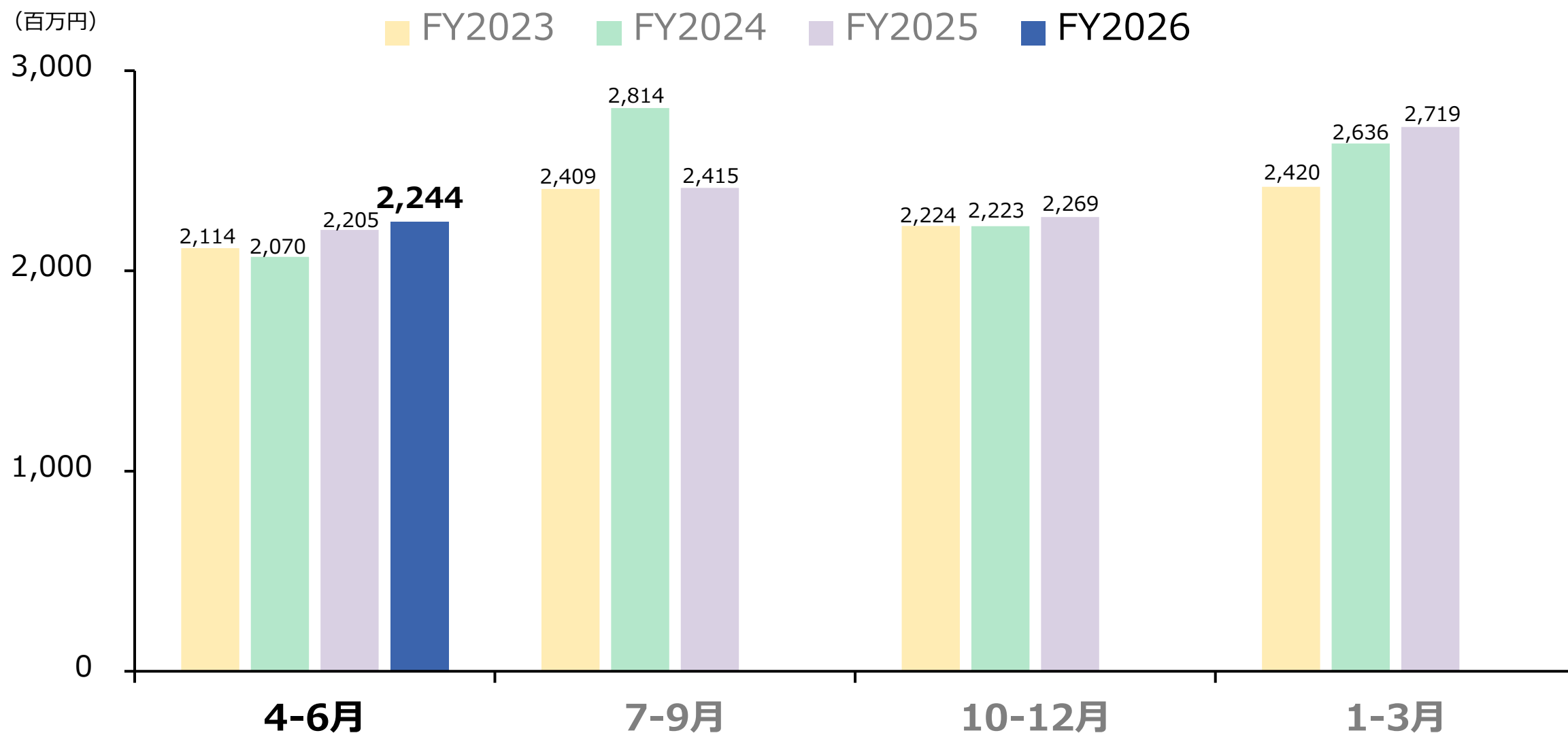
<セグメント利益>

(百万円)



5) 売上高推移

① 計測制御機器



5) セグメント別の業績動向

② 計装システム

損益状況

売上高



1,284百万円

前年同期比 46.8%減



セグメント利益



50百万円

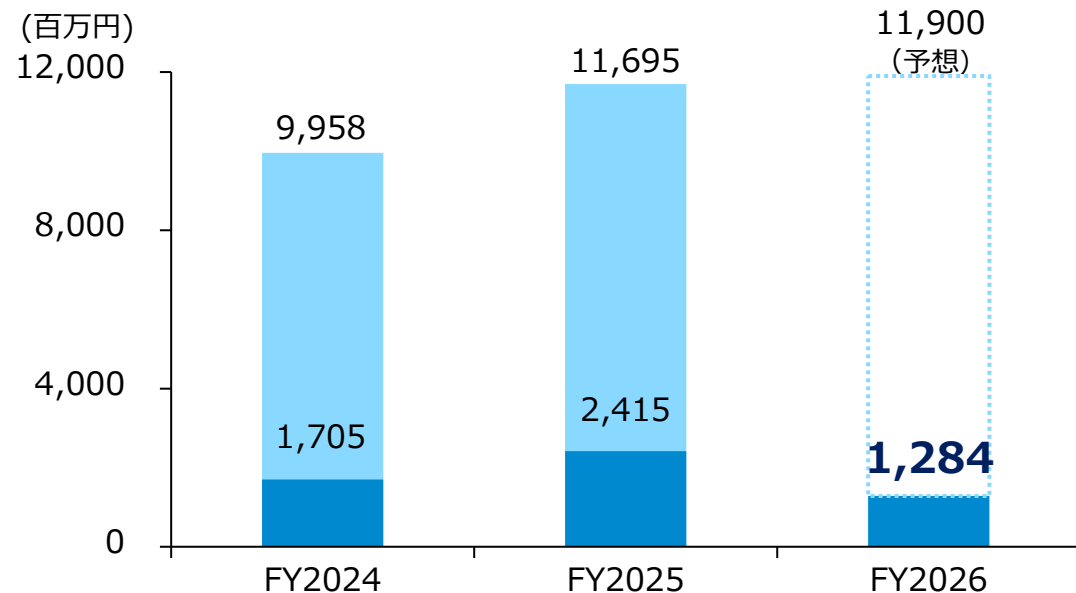
前年同期比 58.1%増



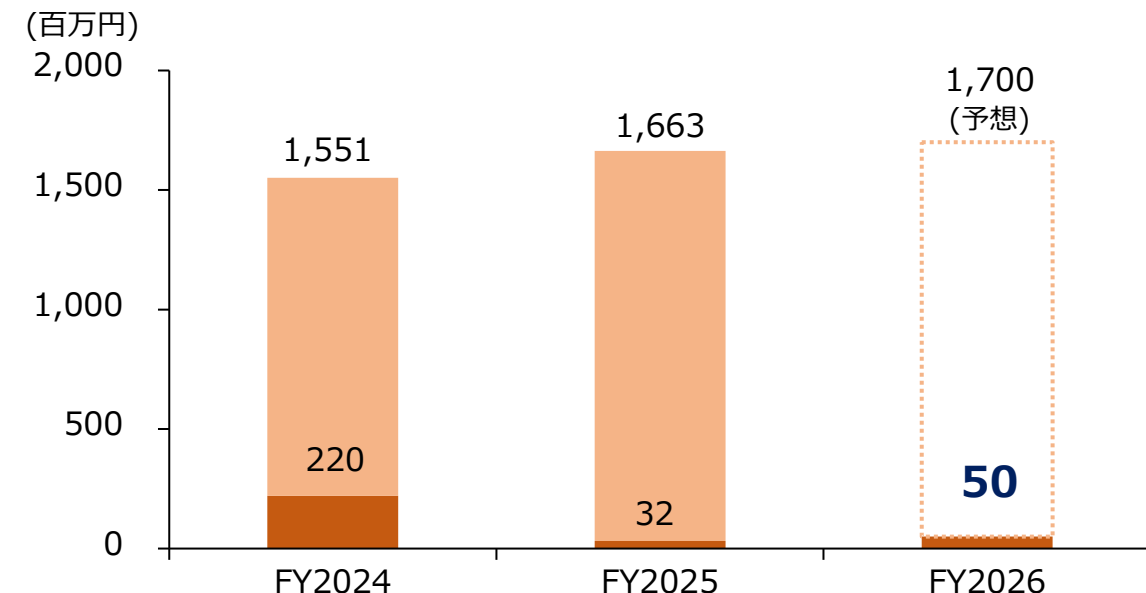
製品別状況

- 燃料電池評価試験装置（自動車向け）・水電解評価装置（水素エネルギー利用の研究・開発）・温湿度管理システム（医薬品等）・電子部品の製造向け装置等の需要は堅調
- 空調用コンプレッサ評価試験装置の大型案件を前年同期に計上した影響により減収
- 利益は、利益率の改善等により増加

<売上高>

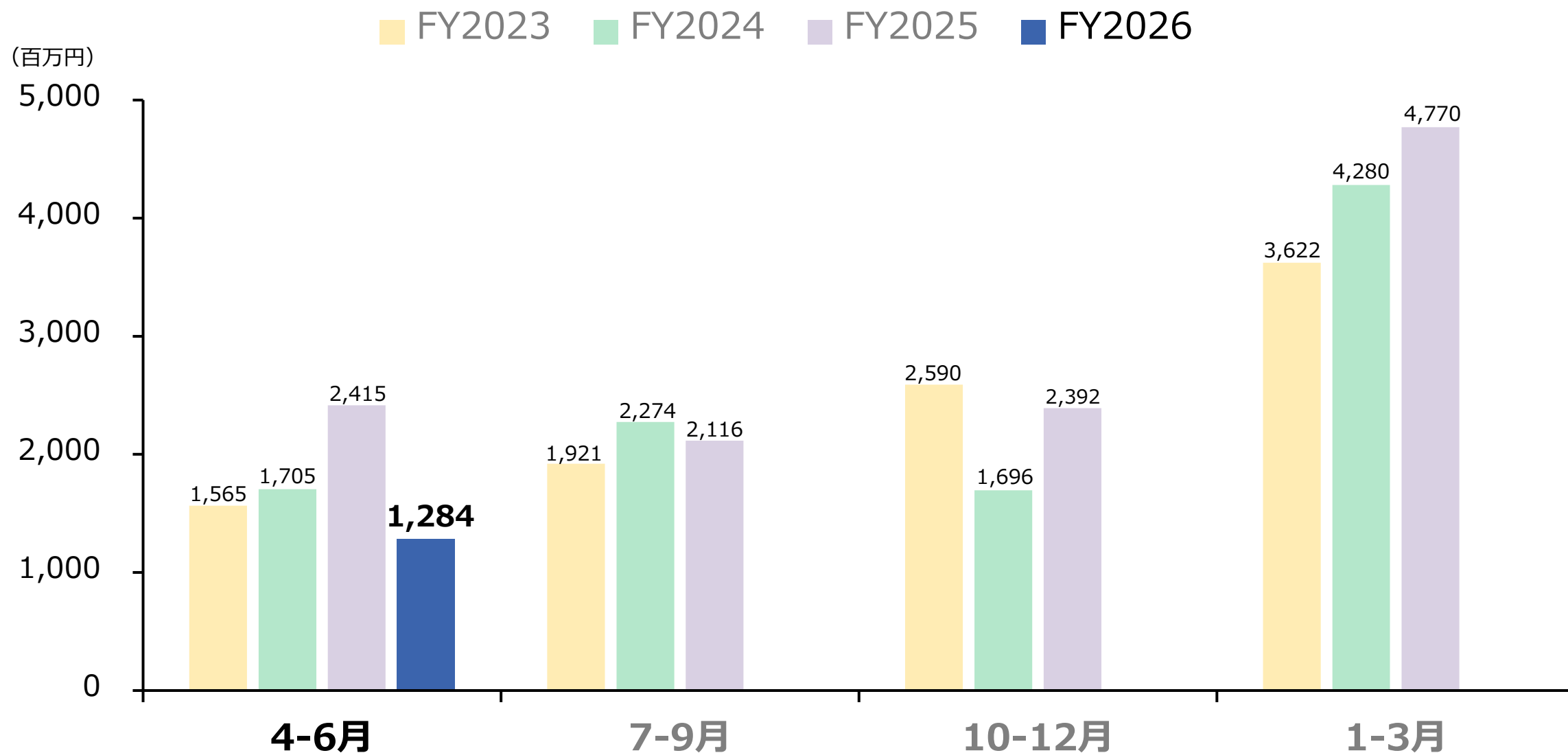


<セグメント利益>



5) 売上高推移

② 計装システム



5) セグメント別の業績動向

③ センサ

損益状況

売上高

2,512百万円

前年同期比 23.5%増



セグメント利益

513百万円

前年同期比 29.8%増

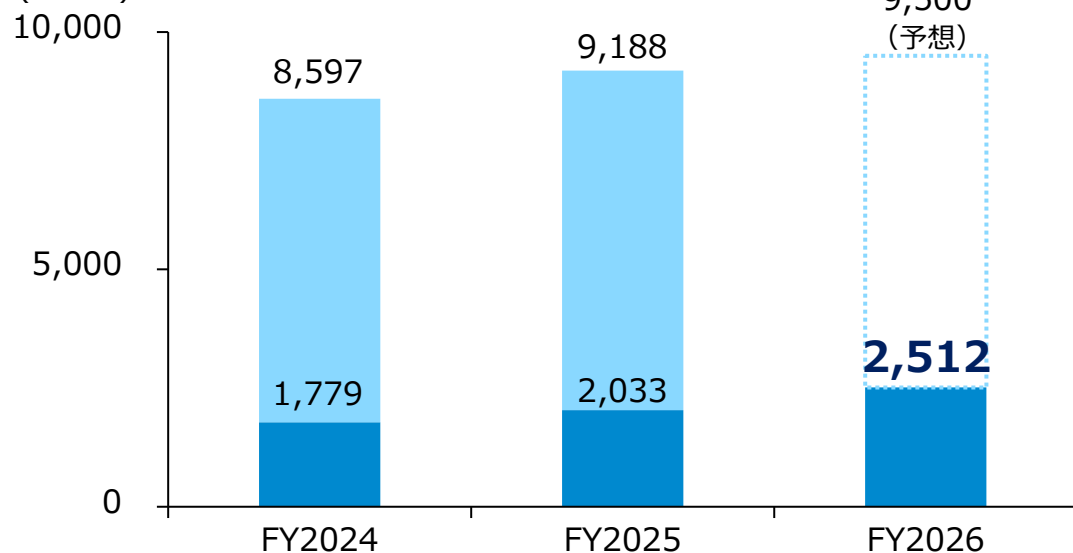


製品別状況

- 半導体・電子部品の製造装置や熱処理加工向けを中心に需要が好調
- グループ会社・明陽電機(株)（船舶向け温度センサを製造販売）の増収が寄与
- 利益は、増収効果等により増加

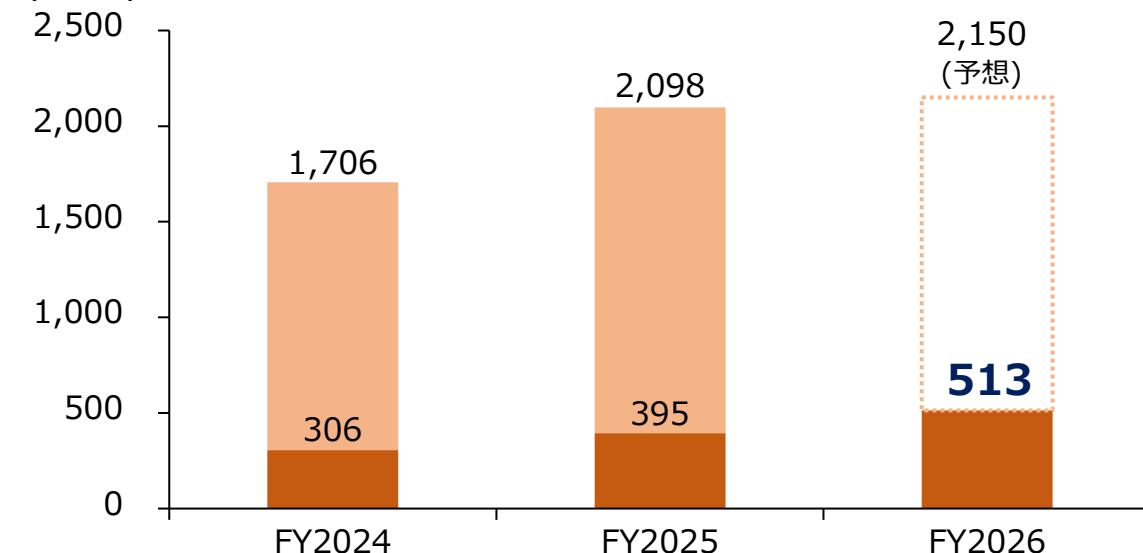
<売上高>

(百万円)



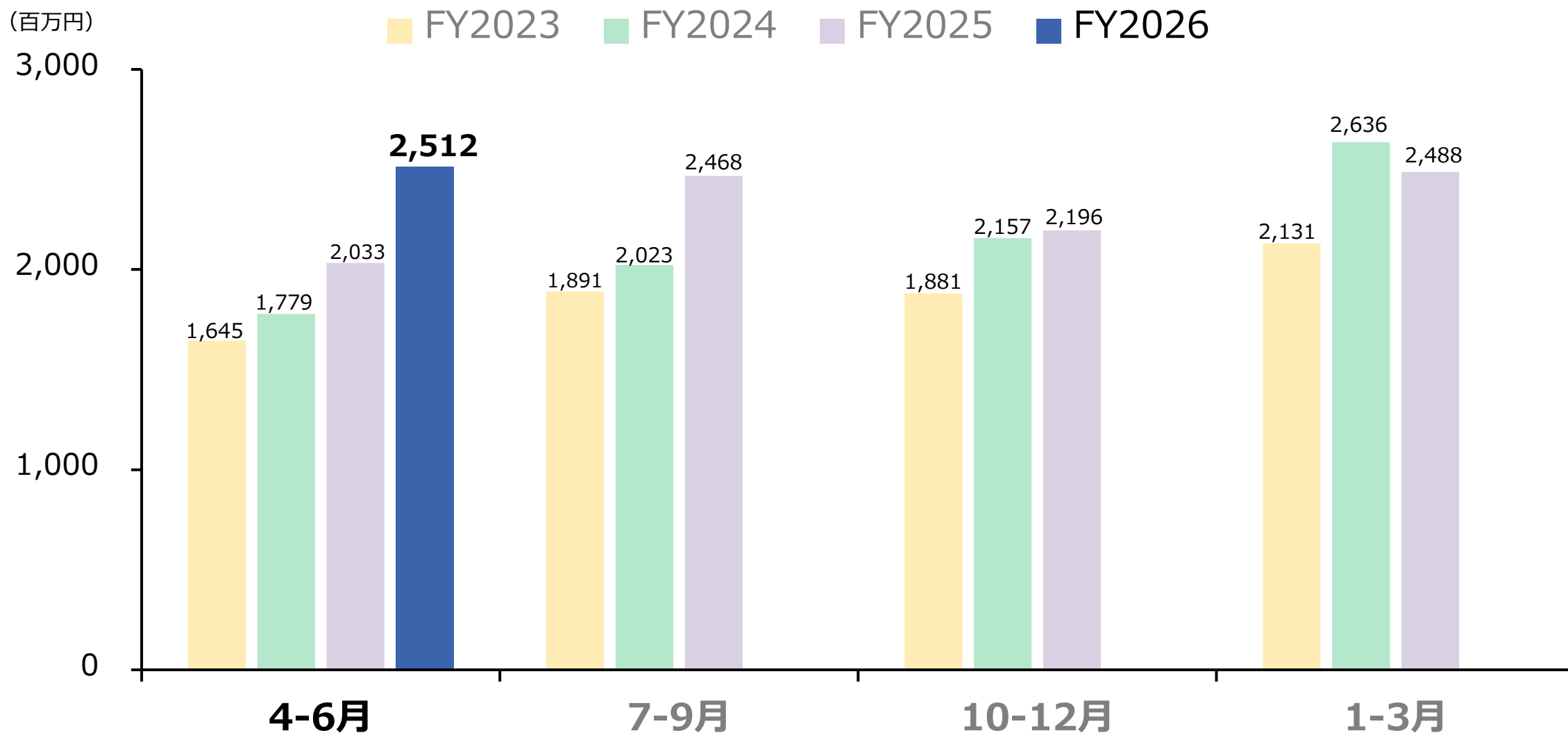
<セグメント利益>

(百万円)



5) 売上高推移

③ センサ



6) 連結貸借対照表

- 資産 棚卸資産・現預金が増加した一方で、売上債権の減少により前期末比▲1,068百万円
- 負債 仕入債務の減少等により流動負債は▲540百万円、長期借入金の減少等により固定負債は▲216百万円となり、負債合計では前期末比▲756百万円
- 純資産 株主資本の減少等により、前期末比▲312百万円

(百万円)

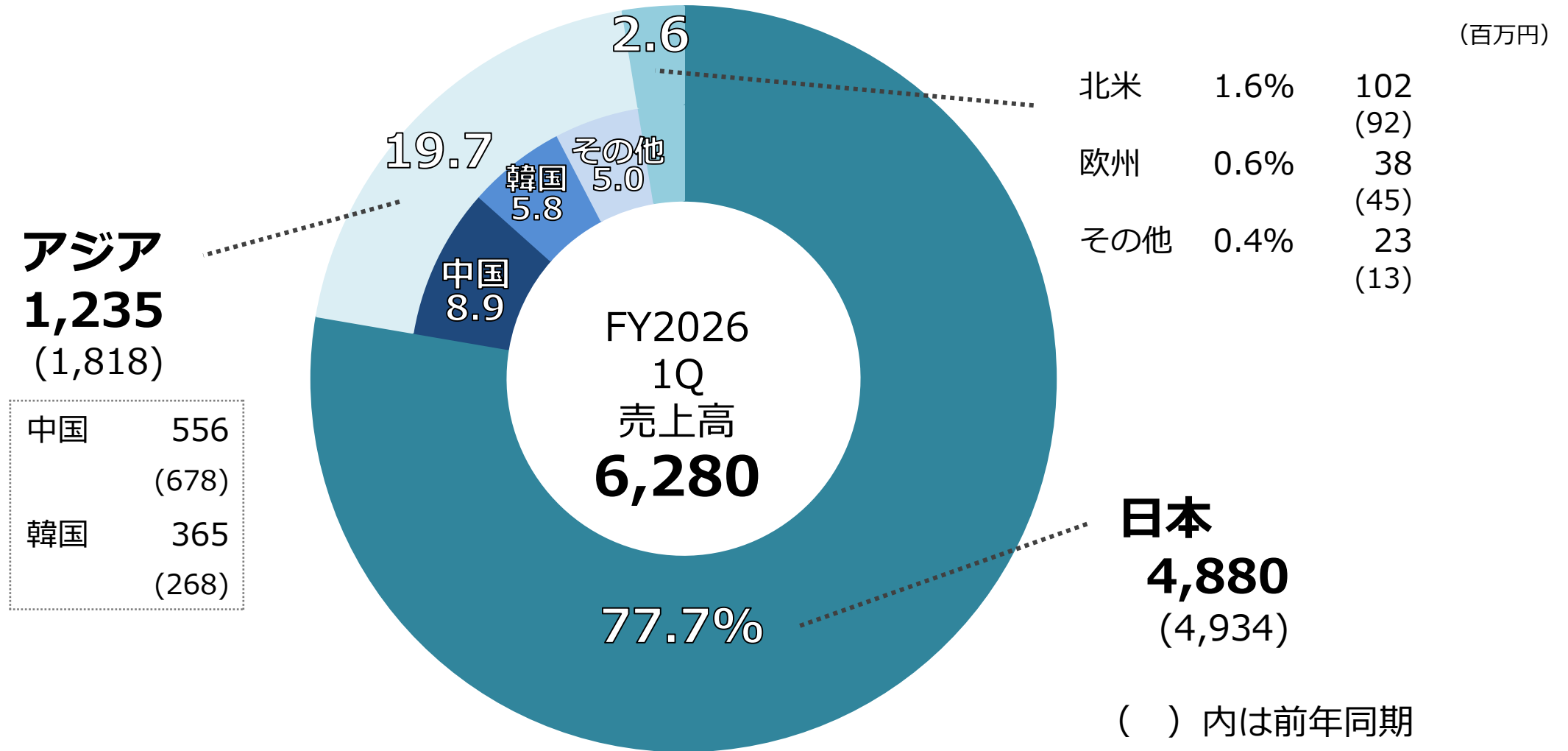
科目	2026年3月末	2026年6月末	増減額
流動資産	29,579	27,816	▲ 1,763
現預金	9,621	10,346	725
売上債権	10,202	6,625	▲ 3,576
棚卸資産	9,457	10,441	984
その他	298	402	103
固定資産	11,529	12,224	694
有形固定資産	6,487	6,698	211
無形固定資産	445	451	5
投資その他の資産	4,597	5,073	476
資産合計	41,109	40,040	▲ 1,068

科目	2026年3月末	2026年6月末	増減額
流動負債	9,723	9,182	▲ 540
仕入債務	4,585	4,362	▲ 222
短期借入金	1,673	1,673	0
その他	3,464	3,146	▲ 317
固定負債	4,801	4,585	▲ 216
長期借入金	2,518	2,374	▲ 143
その他	2,283	2,210	▲ 72
純資産	26,585	26,272	▲ 312
株主資本	22,055	21,351	▲ 703
その他の包括利益累計額	1,324	1,770	446
非支配株主持分	3,205	3,150	▲ 55
負債純資産合計	41,109	40,040	▲ 1,068

※自己資本比率〈2026年6月末〉：57.7%（前期末比0.8P）

7) 地域別売上高

- 国内売上高：前年同期比53百万円の減収
- 海外売上高：同571百万円の減収(アジア▲583百万円<タイ▲296百万円、インド▲276百万円>)

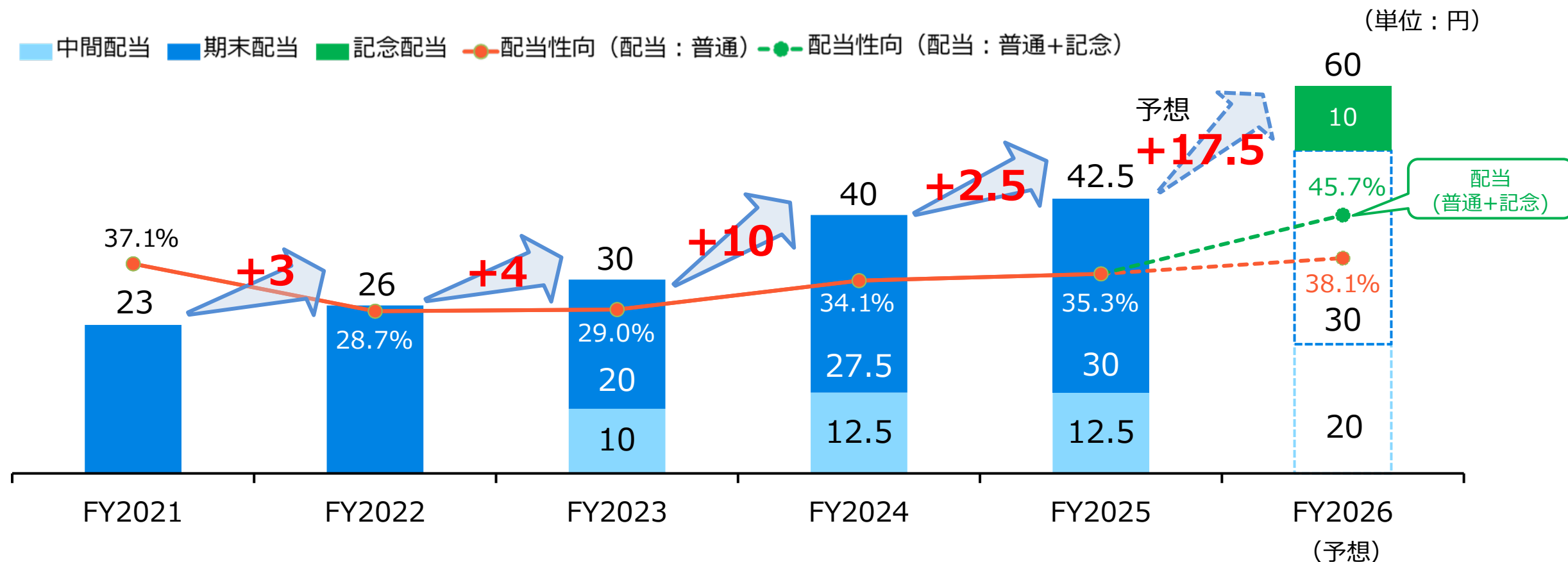


2.株主還元

配当の推移（※株式分割後ベース）

※2025年10月1日付で1株を2株に分割。下記グラフ（FY2021～FY2026）は、株式分割後ベース。

FY2026 配当金（予想）：60円（前期比 17.5 円 増配）



※自己株式取得 ①期間：2025年11月～2026年11月 ②取得上限：株式総数：860,000株 総額：1,300百万円

3. トピックス

1.自己株式の取得（概要）

株主還元を強化するとともに、**資本効率の向上**を図ることを目的として
2025年11月12日の取締役会において、自己株式取得について決議

1) 取得期間

2025年11月13日～2026年11月12日

2) 取得する株式（上限）

①株数 860,000株

※発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 5.05%

②金額 1,300百万円

3) その他

取得する自己株式は、消却予定

2.自己株式の取得状況（2026年7月31日現在＜約定ベース＞）

①株数 603,000株（上限の70.1%）

②金額 927百万円（上限の71.3%）

共同開発（「電動車両の熱マネジメント評価装置」）

当社は(株)小野測器と電動車両開発時において使用する「熱マネジメント評価装置（T-VRS）（※）」を共同開発しました。

当システムにより**開発期間の短縮、エネルギー効率の最適化**に貢献します。

※Thermal-VRS サーマルトランジェントベンチ



写真（右）：(株)小野測器 大越社長
"（左）：当社 豊田社長

(株)小野測器

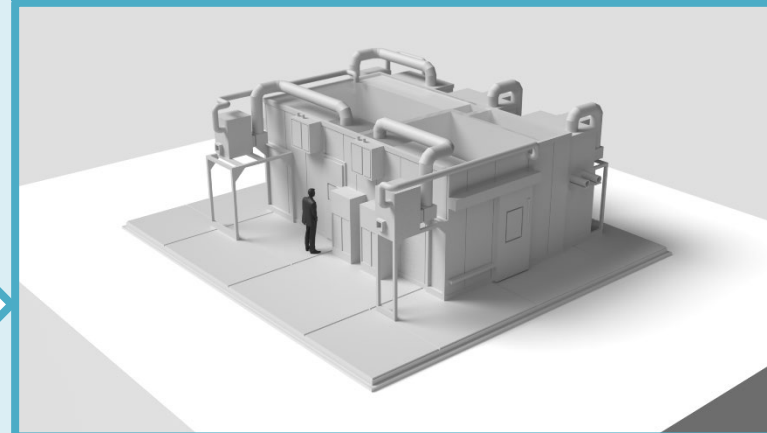
評価システム熱マネジメント(※)
のシミュレーション技術
※自動車・動力伝達系



当社

車用エアコンシステム試験装置・
環境試験室の技術

熱マネジメント評価装置（T-VRS）

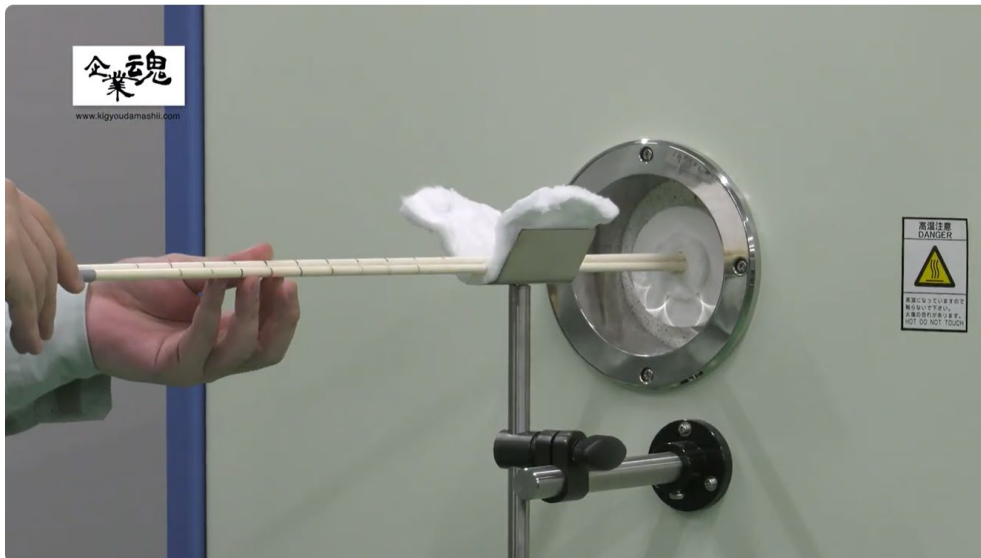


- システムの概要：熱マネジメント用の構成部品において、実車環境を模擬することで試験が可能
- ターゲット市場：電動車両関連
- 販売開始時期：2026年12月（予定）

TOKYO MX2「企業魂」に登場

2026年6月30日11時40分放送のTOKYO MX2「企業魂」で、チノーの「ループソリューション」と「次世代育成の取り組み」が紹介されました。

※右下のQRコードでアクセス頂きますとYOUTUBE動画が見られます。



東京MX系の企業アピールを目的とした30分番組（不定期番組・特番系）で、スタートアップ企業からプライム企業まで、さまざまな企業が紹介されています。

<企業魂>

<https://youtu.be/E44Y2sDw-4I?si=ofMsVWXxVoa1dGKy>



4.通期業績予想

通期業績予想（2026年5月14日発表から変更なし）

中東情勢の緊迫化による原油価格の高騰や金融市場のボラティリティの高まりにより不確実性は増しているものの、主要顧客（自動車・電子部品分野等）および脱炭素社会に向けた水素関連分野における需要拡大を前提として、FY2026の業績予想は前期比で増収増益と予想

（百万円）

項 目	FY2026 業績予想 (2026年5月14日発表)	FY2025 実績	増減	増減比 (%)
売上高	32,500	31,648	852	2.7
営業利益	3,300	3,225	75	2.3
経常利益	3,400	3,326	74	2.2
当期純利益 (親会社株主に帰属)	2,150	2,042	108	5.3

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づいており、この中には潜在的なリスクや不確定要素も含まれています。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向等により、本資料における業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

CHINO